

2019. 2. 5 &lt;計1枚&gt;

京都教育記者クラブ加盟各社 各位

立命館大学広報課

**立命館小学校児童が最新技術を体験！  
運動とからだの関わりをデータで学ぶ、スマートウェア体験授業の実施**

立命館小学校(学校法人立命館:京都市北区)の5年生児童110名は、最新のスマートウェア(※1)を着用して持久走などの運動を行い、計測したデータから運動とからだの関わりを学びます。

本校では、開校当初より児童の学びの場にICT機器を導入したカリキュラムを実践しています。各教室へのプロジェクター・電子情報ボードの設置、1年生～4年生のロボティクス科の授業の他、5、6年生になると1人1台タブレット端末を所持し、効率的な情報収集や自らを表現するためのツールとして授業等で活用しています。

このたび、文部科学省から採択されたCOI事業(※2)「運動の生活カルチャー化により活力ある未来をつくるアクティブ・フォー・オール拠点」(拠点リーダー:立命館大学)の協力を得て、児童たちがセンサーを搭載したスマートウェアを着用して運動を行います。計測したデータを各自支給されたスマートフォンへ送り、心拍数やその変動を確認しながら、自身の心拍数が運動によって増加することや、心拍数が運動強度の指標になることを学びます。世界中で開発が進むスマートウェアなどのウェアラブル端末に実際に触れることで、最新のICTについて理解を深め、そのような技術によって可能になる社会を想像する機会になればと考えています。

(※1)スマートウェア・・・導電性のペーストによる電極を埋め込んだアンダーウェア。着用するだけで心電図、体温、発汗量、呼吸運動などを計測することができる。

(※2)COI事業・・・文部科学省が10年後の社会を見据えて設定した3つのテーマ「少子高齢化先進国としての持続性確保」・「豊かな生活環境の構築(繁栄し尊敬される国へ)」・「活気ある持続可能な社会の構築」に対するチャレンジング・ハイリスクな研究開発に最長9年間、拠点あたり年間1億～10億程度の支援を行う「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)拠点」事業。立命館大学が拠点リーダーを務める「運動の生活カルチャー化により活力ある未来をつくるアクティブ・フォー・オール拠点」は、スマートウェアから得たデータをテクノロジーやアプリケーションシステムと掛け合わせ、疾病の早期発見や健康維持増進、より健康な社会の実現するための開発・製品化を進めている。

## 記

日 程 : 2019年2月7日(木)、8日(金) 両日とも①8:40～10:20、②10:40～12:20

※①、②とも同じ内容です

場 所 : 立命館小学校 グラウンド(京都市北区小山西上総町22番地 TEL:075-496-7777)

※雨天時は体育館

内 容 : スマートウェアの体験授業

参加者 : 5年生児童110名 ※授業はクラス毎(4組)に分かれて行います

COI事業関係者(立命館大学教授、研究員、企業関係者含む)

※ご取材いただける場合は前日までに下記にご連絡をお願いします。

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館小学校事務室 担当:安平

TEL. 075-496-7777 <http://www.ritsumeai.ac.jp/primary/>

既存の枠を超えて未来をつくり出すこと  
それが立命館のアイデンティティー

**Beyond Borders**